

第146回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当	座	預	金	受	取	手	形	売	掛	金				
前	払	金	未	収	入	貸	付	金		仮	払	金				
備		品	支	払	手	買	掛	金		前	受	金				
仮	受	金	借		入	貸	倒	引	当	金	備品減価償却累計額					
売		上	受	取	手	料	固	定	資	産	売	却	益			
仕		入	通		信	費	旅	費	交	通	費	支	払	運	賃	
租	税	公	課	貸	倒	損	失	固	定	資	産	売	却	損	雑	損

1. 正木商店から商品 ¥ 800,000 を仕入れ、代金のうち ¥ 500,000 は湖月商店振出しの約束手形を裏書譲渡し、残額は掛けとした。なお、当店負担の運送費 ¥ 3,000 は現金で支払った。
2. 不要になった備品（取得原価：¥ 300,000、減価償却累計額：¥ 180,000、記帳方法：間接法）を期首に ¥ 150,000 で売却し、代金は月末に受け取ることにした。
3. 収入印紙 ¥ 5,000 と郵便切手 ¥ 1,000 を購入し、代金は現金で支払った。なお、収入印紙と郵便切手はただちに使用した。
4. 定岡商店に対する売掛金 ¥ 100,000（当期販売分）について、本日、¥ 30,000 を現金で回収し、残額については貸倒れとして処理した。なお、貸倒引当金の残高は ¥ 80,000 である。
5. 従業員が出張から戻り、旅費の残額 ¥ 3,000 と、得意先から回収した売掛金 ¥ 20,000 を現金で受け取った。なお、出張にあたって、従業員には旅費の概算額 ¥ 10,000 を渡していた。